

令和元年度 黒のり漁場栄養塩調査表(第22回)最終号

分析日: 令和2年3月11日

漁場名	採水時刻	水温		比重		DIN($\mu\text{g/L}$)		PO4-P($\mu\text{g/L}$)		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	
			3月4日		3月4日		3月4日		3月4日	
桑名	木曾岬	10:00	11.8	9.0	22.2	4.5	283	416	6	9
	伊曾島(温泉)	8:30	11.0	11.2	19.9	10.7	268	388	20	2
	伊曾島(新田)	8:35	11.4	11.3	24.4	13.7	175	282	12	1
	城南	10:00	11.8	11.3	21.4	22.9	145	203	11	11
鈴鹿	下箕田	-	-	10.7	-	23.7	-	87	-	2
	浜田	7:00	11.8	11.0	22.2	23.7	181	152	6	14
	白子	9:30	11.0	10.7	23.7	24.4	32	59	11	4
津市	-	-	9.5	-	24.4	-	20	-	1	
松阪	大口	8:00	11.3	10.5	16.8	23.7	608	163	35	14
	東黒部	-	-	10.0	-	20.6	-	238	-	13
伊勢湾	下御糸	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大淀	6:30	11.5	11.0	19.1	24.4	459	48	16	1
	今一色(台場)	6:30			24.4	23.7	37	60	2	3
	今一色(八幡)	6:30			23.7	24.4	36	43	2	3
鳥羽磯部	桃取町	8:00	11.0	10.5	24.4	24.4	35	32	1	2
	大答志	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答志上手	12:00	12.4	10.7	24.4	25.2	33	44	2	2
	菅島(表)	9:55	12.0	11.0	24.4	25.2	52	50	3	5
	菅島(裏)	-	-	12.0	-	26.0	-	66	-	6
	安楽島	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※DIN…アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素の総量

※PO4-P…リン酸態リン

※白抜きは不明、-は欠測

【ノリの生育条件】	水温	比重	DIN($\mu\text{g/L}$)	PO4-P($\mu\text{g/L}$)
好適条件	8~13	15~24	100~400	15~50
概況など	白子港の水温は、高めで推移しています。比重は、平年並みで推移しています。現在、植物プランクトンが発生している漁場があります。潮位は、潮位図に比べて -2 cm ~ +45 cm で推移しています。今後の動向に注意してください。 ※発生している植物プランクトンの優占種は、スケルトネマ属です。			
桑名	栄養塩量は、十分あります。			
鈴鹿	栄養塩量は、白子で少なくなっています。			
中勢	栄養塩量は、大口で十分あります。			
南勢	栄養塩量は、大淀で十分あります。今一色で少なくなっています。			
鳥羽	栄養塩量は、少なくなっています。			

★栄養塩動向調査(PDF版)はインターネット上で見ることもできます。

【パソコンの場合】鈴鹿水産研究室 <http://www.pref.mie.lg.jp/suigi/hp/16172017481.htm>

【携帯電話の場合】 <http://osakana-mie.com/producer/phone.cgi>

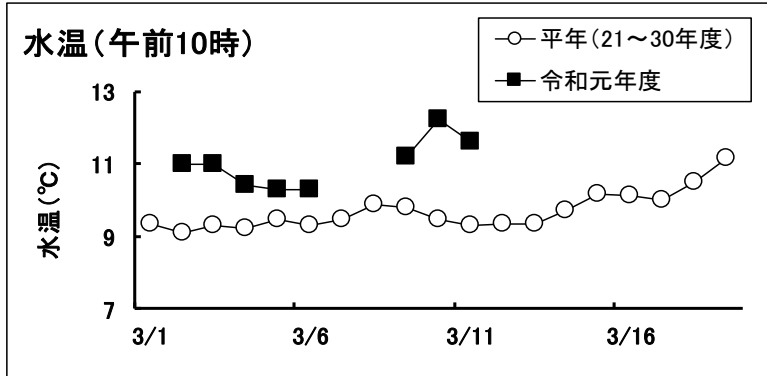
上記アドレスをbookmark登録してご利用頂くか、右側の二次元バーコードをカメラ付携帯電話で読み取り表示されたアドレスにアクセスしてください。

*機種によっては利用できない場合があります。

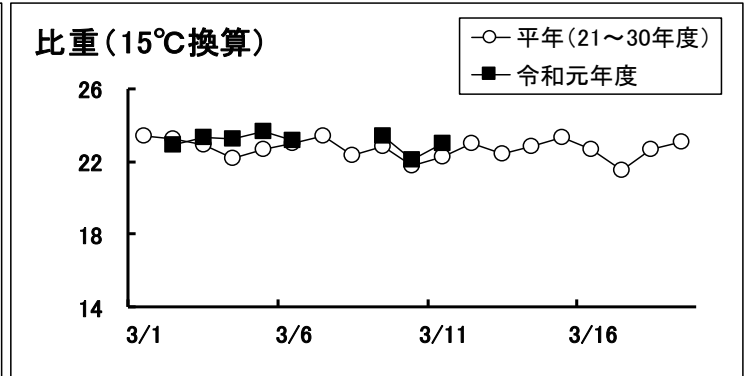


令和元年度 黒のり漁場調査(第22回)

【水温】



【比重】



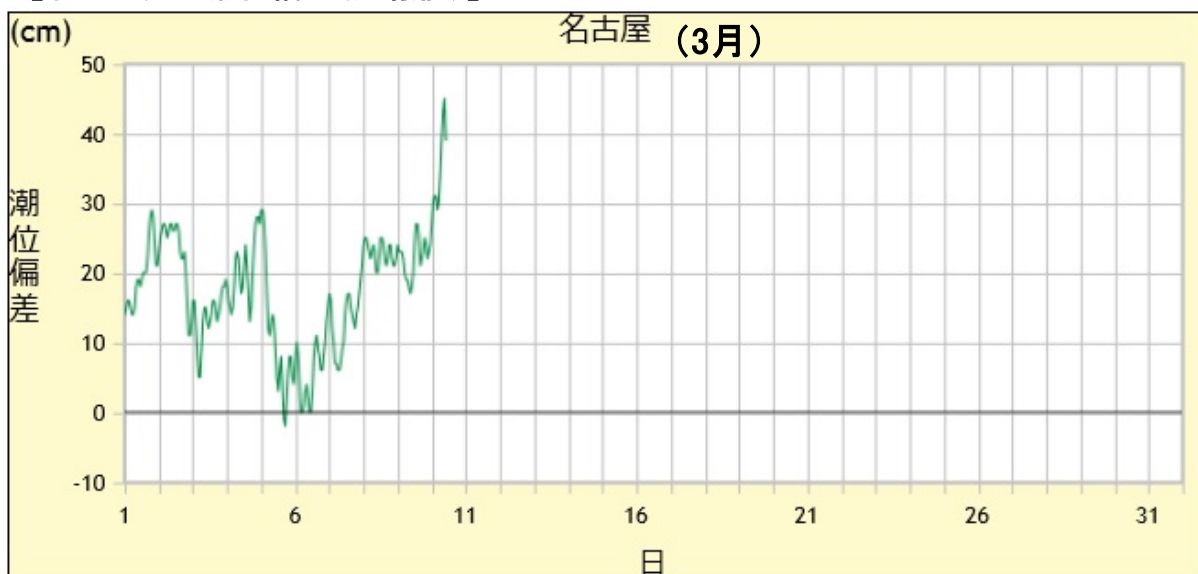
【プランクトン】

採水日	漁協名	発生密度 (cells/mL)	
3月9日	木曾岬	675	
3月9日	伊曾島(温泉)	1,725	
3月9日	伊曾島(新田)	1,100	
3月9日	城南	1,750	
-	鈴鹿市	下箕田	-
3月10日		浜田	90
3月9日		白子	85
-	津市	-	
3月10日	松阪	大口	315
-		東黒部	-

採水日	漁協名	発生密度 (cells/mL)	
-	下御糸	-	
3月10日	大淀	410	
3月10日	今一色(台場)	190	
3月10日	今一色(八幡)	185	
3月10日	桃取	10	
-	大答志	-	
3月9日	答志上手	50	
3月10日	菅島	表	10
-		裏	-
-	安楽島	-	

【名古屋港の潮位偏差(速報値)】

(気象庁)



潮位偏差: 計算上の予測潮位と実測潮位との差

プラスの時は実際の潮位が予想潮位より高く、マイナスの時は低いことを示す。